

## 素顔の東欧

社団法人ロシアNIS貿易会・ロシアNIS経済研究所 調査役 服部倫卓

## 再生を目指すシレメチェヴォ空港

## 印象の悪い空の玄関口

ロシアの首都モスクワの空の玄関口といえば、これまでは何といてもシレメチェヴォ国際空港でした。モスクワ市の北東部に位置するこの空港は、主に国内線が発着するシレメチェヴォ1と、国際線のシレメチェヴォ2から成ります。ちなみに、外国人がよく利用するシレメチェヴォ2は、モスクワオリンピックの開催に合わせて、1980年春に開業したターミナルです。

ロシアと言えば、暗く、混乱し、腐敗した国というイメージをもつ人も少なくないでしょう。そうしたネガティブなイメージのかなりの部分は、シレメチェヴォ空港の印象で決まってしまうような気がしてなりません。外国人がロシアを訪れる際に、最初に降り立つのがこの空港なわけですから、印象は大事です。

実際、シレメチェヴォ空港の欠点を挙げれば、キリがありません。まず、空港と市内を結ぶ適切な交通機関が、事実上存在しないこと。

列車やバスがなくても、タクシー乗り場に正規のタクシーが整然と並んでいてくれれば、まだ安心できるのですが、ここではそれもないので、「TAXI?」と言いながらすり寄ってくる怪しげな白タクを利用せざるをえません。また、シレメチェヴォ1と2の間の移動・乗り継ぎも、きわめて不便です(隣接はしていますが、別々の空港だと考えた方がいらい)。空港の施設内が暗く、汚いことも、気が滅入る一因でしょう。挙句の果てに、空港で働いている職員が怠惰かつ横柄ですから、利用者にとってストレスの種は尽きません。

## ドモジドヴォ空港との熾烈な争い

このように、シレメチェヴォ空港の状況は劣悪で、しかも最近では増大する旅客需要に処理能力が追いついていませんでした。そこで台頭してきたのが、モスクワ市の南部にあるもう一つの国際空港、ドモジドヴォ空港です。2001年以降、オーストリア航空、ブリティッシュエアウェイズ、スイスエアなどの外国エアラインが次々と、モスクワでの乗り入れ空港をシレメチェヴォからドモジドヴォに切り替えました。

2007年12月には日本航空もドモジドヴォ移転に踏み切り、2008年4月にはルフトハンザも続くといわれています。

その結果、2005年から、シレメチェヴォはロシアで最も利用者数の多い空港ではなくなり、その座をドモジドヴォに譲ってしまいました。2007年の利用者数を見ても、ドモジドヴォが1,876万人、シレメチェヴォが1,404万人と、差は開く一方です。

もちろん、シレメチェヴォ空港も黙ってはいません。現在、「シレメチェヴォ3」という新ターミナルが建設されているところで、2008年末にも開業する予定です。シレメチェヴォ3は、ロシアのフラッグ・キャリアであるアエロフロート航空と、同社が加入する国際的な航空連合「スカイチーム」が主に使うことになっているので、シレメチェヴォ=アエロフロートの本拠空港という図式が今後はさらに強まりそうです。

※当資料中の第三者のコメントは著者個人の見解であり、当社の運用方針・投資判断とは何ら関係がありません。また、その内容の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。

## 第4期決算収益分配のご報告

「愛称:こはく(琥珀)」は2月18日に第4期決算を行い、500円(税引前、1万口あたり)を今期収益として分配いたしました。

設定(2006年5月19日)以来の収益分配金累計は3,600円(同)です。

第5期決算は8月18日(月)を予定しております。

## ファンドお申込情報

■向こう3ヶ月間の「こはく」お申込休止日: 3月21日(金)、3月24日(月)、5月1日(木)、5月12日(月)、5月22日(木)

\*「こはく」のお申込休止日は、フランクフルト証券取引所の休業日またはフランクフルトの銀行の休業日です。

上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。本資料に記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。なお、当資料はドイチェアセット・マネジメント株式会社によって作成された販売用資料です。取得の申込みにしたがっては、販売会社より投資信託説明書(目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。